

第46回「若手の会」, 「若手育成のための合同会合」 および第2回「若手の会見学会」

Meeting report on “The 46th youth meeting”,
“Associated meeting for youth development” and “The 2nd youth tour”

愛須 優輝

Yuki AISU

1. 若手の会第46回会合

名古屋大学東山キャンパスにて開催された軽金属学会第146回春期大会の3日目の昼食時間帯(2024年5月12日(日), 12:10~13:10)に若手の会第46回会合を開催した。今回は大学3名, 学生21名, 企業11名, 会員のお子さん2名の計37名に参加いただいた。これはコロナ禍以降最大の人数であり, 会場も満員の大盛況となった。はじめは昼食のお弁当を食べながら懇談いただき, その後話題提供として株式会社UACJの江目 皓祐氏より講演いただいた(図1)。講演では名古屋のおすすめスポット, 企業研究の特徴や“あるある”などについて語っていただいた。入社2年目の立場からの率直なお話は特に進路選択を見据える学生にとって貴重であり, 質疑も活発に行われた。

今回も懇談, 講演会ならびにその後の活発な質疑応答を通じて, 若手同士の親睦を深めることができた。最後に, 会場の準備や当日のサポートにご尽力いただいた第146回大会実行委員の皆様がこの場を借り厚く御礼申しあげる。

2. 若手育成のための合同会合

大会初日5月10日(金)の19:00から, 金山駅近くの居酒屋にて若手育成のための合同会合を開催した。今回は大学2名, 学生2名, 企業6名の計10名に参加いただいた(図2)。合同会合では名古屋名物の手羽先を楽しみながら, 仕事や趣味のほか, 研究活動における失敗談などの話題で大いに盛り上がり, 親睦を深めることができた。

3. 第2回若手の会見学会

前回大会より, 軽金属への知見を拡げるとともに, 企業や大学の若手会員・学生会員の交流を目的として, 若手の会主催の見学会を開催している。第2回となる今回は大会初日5月10日(金)の9:30から, キリンビール株式会社名古屋工場を見学した(図3)。見学会には24名の応募があったが, 定員の都合で大学3名, 学生10名, 企業7名の計20名で行った。見学ではガイドの方より工夫を凝らした説明手法でビール製法の説明を頂いた。その後製造されたビールをアルミ缶に封入するパッケージング工程(図4)の見学を通して, 軽金属材料が実社会においてどのような役割を果たし, どのように最終製品に至るのかについて理解を深めた。見学の最後には試飲を通じて会員同士の交流を深めた。

若手の会では, 今後も若手の会会合, 若手育成のための合同会合および見学会を開催していく予定である。他大学の学生, 他企業の研究者と交流し, 横のつながりを広げられる良い機会になるため, 次回の群馬大学でも奮ってご参加いただきたい。若手の会の活動内容に対して, ご意見・ご希望などございましたら以下の若手の会のメールアドレスまでご連絡いただきたい。皆様の声をお待ちしている。

若手の会世話人: 室蘭工業大学 佐々木 大地
日本軽金属株式会社 清水 裕太
株式会社UACJ 愛須 優輝(文責)
若手の会メールアドレス: keikinwakate@gmail.com



図1 若手の会の様子



図2 合同会合での記念写真



図3 見学会での記念写真

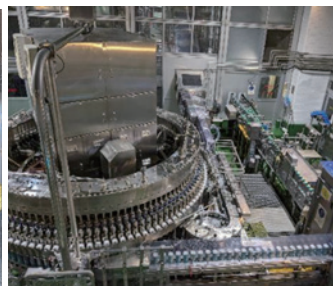


図4 パッケージング工程